

スペシャルコンテンツ「The Layers of Light」公開
神宮寺勇太、MIKIMOTOのクラフツマンシップに触れる
「ずっと見ていたくなるような“引き込まれる瞬間”が何度もありました」

MIKIMOTO（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 靖彦）は、2026年5月20日（水）より、スペシャルコンテンツ「The Layers of Light」を特設サイトにて公開いたします。本コンテンツではミキモトとパートナーシップ契約を結んでいる Number_i の神宮寺勇太さんが特別なハイジュエリーオーダーを体験。通常は入ることができないアトリエを訪れ、1世紀以上も受け継がれてきたミキモトのクラフツマンシップに触れながら、神宮寺さんがひとつのジュエリーが出来上がるまでを追体験する様子をおさめたムービーもお届けします。

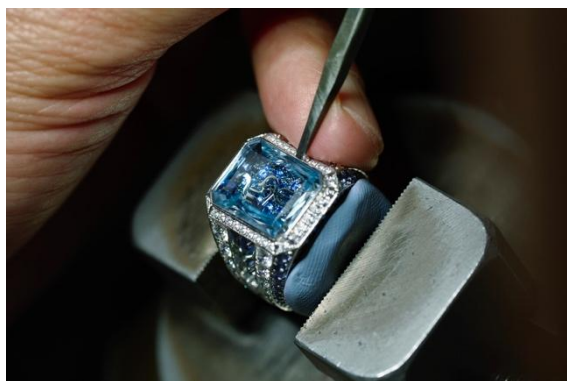
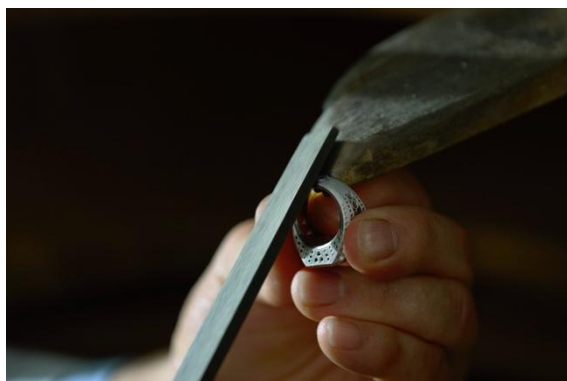


特設サイト：<https://mypearls.mikimoto.com/thelayersofflight>

ムービー：<https://youtu.be/7eiY3ftbMFE>

「The Layers of Light」

本企画では、神宮寺さんがリングの着想から参加。自ら描いたスケッチをもとに、ジュエリーデザイナーとの対話を重ねながらデザインをかたちにしていき、選び抜かれた宝石とともに世界でただひとつのジュエリーへと昇華していきます。さらにアトリエを訪れ、熟練のクラフツマンの手仕事を間近で体験することで、ミキモトが受け継いできた精微な技と美意識に触れました。



映像で描かれるのは、アイデアがかたちとなり、やがて唯一無二の輝きを宿すまでの軌跡。クラフツマンの手仕事息づく空間の中で、その創造の過程を捉えました。神宮寺さん本人によるナレーションも加わり、ジュエリーに込められた想いや製作の軌跡をより深く伝えます。



完成したリングは、ポートレートカットを施したアクアマリンの奥に神宮寺さんのイニシャルと繊細にパヴェセッティングされたサファイアを重ねたデザイン。サイドには黒蝶真珠とアレキサンドライトをセッティング。アクアマリンの透きとおるブルーの中にイニシャルが美しく浮かび上がります。

今回のリング製作のテーマである“重なり”の中に、いまなお進化し続ける独自の美意識と匠の技が宿ります。神宮寺さんとともに、様々な想いが重なったミキモトのクラフツマンシップの神髄を体感ください。

※アトリエは一般非公開となります。

※ジュエリーのオリジナルオーダーは通常受け付けておりません。



【神宮寺勇太さんコメント】

撮影を終えた神宮寺さんに、お話を伺いました。

Q. 今回、初めてミキモトと一緒に「自分のためだけのジュエリー」をデザインから形にすることとなりました。改めて完成したリングと対面した時の印象はいかがでしたか。

箱を開けた時の驚きと感動で言葉を失いました。その後、我に返ったときに思わず大きな声が出てしまったほどです（笑）想像をはるかに超えた凄い作品が出来上がり、撮影中もずっと見ていたくなるような“引き込まれる瞬間”が何度もありました。このような機会を頂けたことを大変光栄に感じています。

Q. このリングはご自身にとってどのような存在になりそうでしょうか。

このリングは、間違いなく自分にとってお守りのような存在になると思います。もともと僕が描いたスケッチにはイニシャルを入れる案はなかったのですが、デザイナーの方からご提案をいただいたことで、このリングがより“自分だけのもの”になったと感じました。イニシャルが入ることでオンリーワンの特別な存在になり、これからも自然と手もとを眺める機会が増えるのではないかと考えています。

Q. ミキモトのアトリエも今回初めて訪問されました。クラフツマンの皆様との対話やジュエリーの製作過程の見学を通して、感じたことはありましたか。

ミキモトのアトリエを訪れ、実際にジュエリーが製作されている現場を拝見できたことはとても印象的でした。ジュエリーが人の手によって丁寧に作られていると聞いたときは驚きましたし、実際にクラフツマンの方々がダイヤモンドを留めたり、イニシャルを手作業で切り出ししたりする工程を見て、ひとつのジュエリーに対して多くの手仕事が重ねられていることを実感しました。改めて、ミキモトのジュエリーには高度な技術と重なる想いが込められているのだと感じました。

Q. ミキモトの技術力を感じられた箇所はありますか。

今回のリングは“重なり”というテーマをもとに製作されています。一番上にアクアマリン、その下にはプラチナで象られたイニシャル、さらにその下には繊細にセッティングされたサファイアが重なり合い、層の美しさを感じられるデザインとなっています。アクアマリンのポートレートカットも初めて知りましたが、爽やかなブルーの色合いと、下の層を際立たせる澄んだ輝きがとても魅力的です。そして贅沢に宝石が使われていながらも、それぞれが無駄なく互いを引き立て合っている点にも、卓越した技術力を感じています。

【神宮寺勇太さん プロフィール】



1997年10月30日生まれ。

23年10月、平野紫耀さん、岸優太さんと共に **Number_i** (ナンバーアイ) を結成。

24年1月、ファーストシングル「GOAT」をリリースし、デビュー。
音楽活動を中心に活躍の幅を広げている。

【映像監督 遠藤尚太郎さんプロフィール】

映画からキャリアをスタートし、広告、ドキュメンタリー映像にも活動を広げていく。ドキュメンタリー映画「TSUKIJI WONDERLAND (築地ワンダーランド)」が、2019年 日本映画批評家大賞ドキュメンタリー賞を受賞。サンセバスチャン国際映画祭、モントリオール世界映画祭ほか9つの国際映画祭に正式出品。タイではドキュメンタリー映画の興行記録を作り、国内外で注目される。ハーバード大学、国際交流基金などの招致により、欧米各国にて講演活動も実施する。

【MIKIMOTO について】

1893年、MIKIMOTO の創業者 御木本幸吉は、世界で初めて真珠の養殖に成功。以来、世界で唯一ともいえる、生産から販売までの一貫体制により、確かな品質、優れたデザイン、卓越した技術によるハイクオリティなジュエリーを一世紀以上にわたり提供しています。

「世界中の女性を真珠で飾りたい」と願い続けた創業者の思いを受け継ぎ、日本を代表するトップジュエラーとして、東京・銀座4丁目の本店をはじめ、パリ・ヴァンドーム広場、ニューヨーク・五番街、ロンドン・ニューボンドストリートなど各地に出店。中国、シンガポール、タイなどアジアにおいても広く店舗を展開しています。